

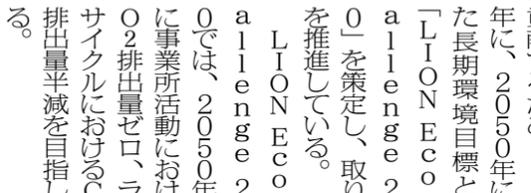
温室効果ガス削減目標がSBTイニシアチブの認定を取得

ライオン

ライオンはこのほど、2030年に向けたGHG(温室効果ガス)削減目標について、科学的な根拠に基づいた「2°Cを十分に下回る目標(Weerbeeke 2°C)」として、SBT(Science Based Targets)イニシアチブより認定を取得した。

同社は、事業成長を図りながら、脱炭素社会と資源循環型社会の実現に貢献するため、2019年に、2050年に向けた長期環境目標として「LION Eco Challenge 2050」を策定し、取り組みを推進している。

今回は、2030年までにスコープ1(自社で使用する間接排出量)、スコープ2(自社が購入した電力、熱の使用による間接排出量)、スコープ3(スコープ1、スコープ2を除く自社の排出量)を削減する目標を設定し、SBTイニシアチブの認定を受けた。SBTイニシアチブは、科学的な根拠に基づいた削減目標を設定し、その達成を支援する国際的なイニシアチブである。



LION Eco Challenge 2050

SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

企業広報大賞を受賞

ユニ・チャームは、第36回企業広報賞を受賞した。昨年の「企業広報経営者賞」に引き続き、2年連続の受賞となる。「企業広報大賞」は、社会から期待される企業に贈られる。ユニ・チャームは、2019年度「企業広報大賞」を受賞した。これは、ユニ・チャームの「企業広報経営者賞」に引き続き、2年連続の受賞となる。この受賞は、ユニ・チャームの「企業広報大賞」に選ばれたことによる。ユニ・チャームは、2019年度「企業広報大賞」を受賞した。これは、ユニ・チャームの「企業広報経営者賞」に引き続き、2年連続の受賞となる。この受賞は、ユニ・チャームの「企業広報大賞」に選ばれたことによる。



株式会社アンドシー 代表取締役社長 平垣 早俊 氏



平垣氏は、20代前半に在籍した組織販売の企画室で仕事の基本を学び、仕入担当として事業規模から業種まで実に様々なメーカーと商談を行った経験がきっかけとなり、起業を志すようになった。そして、20代後半で自社ブランドを展開する商社に転職すると、商品企画から営業を担当した。ここでは自ら手がけたオーラルケア商品をヒットさせ、ドラッグストアの新規販売店を開拓していった。30代後半には当時、営業が社長1人のみの化粧品受託製造(OEM)メーカーと出会い、流通や商品企画、営業など自ら培った幅広い経験が同社のさらなる成長に活かせることを考え、営業部門をゼロから立ち上げることを決意する。

その後、外資系の化粧品OEMで同じく営業部門の立ち上げに参加したほか、美容室を中心とする国内OEMでの一般流通向け新規開拓、さらには百貨店で直営店を展開する国内OEMでの営業を経て今年5月、商品企画からOEMをサポートし、美容ビジネスのコンサルティングや販売促進を行う「アンドシー」を設立した。

豊富な人脈活かし新会社を設立

複数のOEM企業で長年培った豊富な人脈活かし新会社を設立

同社では、小ロット生産を軸にフリーズドライ化粧品やバイオセルロースマスクのOEMをはじめ、現在、平垣氏が顧問を務める化粧品メーカーの専門アドバイザー・アンチエイジング社の原料を用いたまつ毛美容液のOEMを得意とする。「OEM営業は、取引先と工場との間で板挟みとなる面倒な仕事をため、長く続ける人がいない。そういった中で、私は10年以上にわたって従事し、人脈

資生堂

資生堂は、中国香料香精化粧品工業協会が主催する第13回中国化粧品学術研究会(2020年8月12、14日、中国・江蘇省蘇州市)にて、優秀論文として「1等賞」「2等賞」「3等賞」をトリプル受賞した。

受賞については、同社として通算7回目の受賞となった。これらの最新研究や高い技術を今後も中国専用ブランド「オプレン」や、全世界で展開する「クレド・ポー・ボーテ」「SHISEIDO」ブランドなどの化粧品開発へ活用していく。

第13回中国化粧品学術 研討会にてトリプル受賞

資生堂は、中国香料香精化粧品工業協会が主催する第13回中国化粧品学術研究会(2020年8月12、14日、中国・江蘇省蘇州市)にて、優秀論文として「1等賞」「2等賞」「3等賞」をトリプル受賞した。



(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、堅く禁じられております。本紙からの複製を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY)(03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。